

(公財)福岡県国際交流センターの最新の移住事業をお伝えします

平成26度 福岡県移住者子弟留学生9名が福岡での新生活をスタート!

桜が満開の4月2日、9名の移住者子弟留学生が来日し、福岡県で1年間の留学生生活をスタートしました。来日後は、留学先の学校への挨拶や新生活の準備で慌ただしい毎日でしたが、今では留学生同士で協力をしながら、福岡での生活を楽んでいます。

また、5月には、海老井副知事を表敬訪問しました。副知事より「ブラジル県人会では、県費留学生 OB 会が設立されています。ブラジルのみなさんは、帰国後、ぜひ OB 会に入って、一緒に頑張してほしいし、まだ OB 会が無い県人会は、皆さんが OB 会を作ってほしいと思っています。また、この貴重な留学の機会を、皆さんの今後に役立つように過ごしてください。そして、今後、福岡県と各県人会の関係を更に深められるように、お力添えをしてほしいと思います。」と激励の言葉を頂きました。



【海老井副知事表敬】

留学生に質問! 福岡での生活はどうですか?

福岡の人は、いつも相手に手を差し伸べる用意ができていて、見返りなく相手の幸せを考えていることに感動しました。
竹下 クスティ(ペルー)



日本語が難しく、うまく意思疎通がとれませんが、今はそのことが日本語を勉強するための原動力となっています。
重 エリッキ 和男(ブラジル)



福岡の生活で最初に困ったことは、電車に乗ることです。私の国には電車がなかったので、慣れるまでに、時間がかかりました。
黒木 なつみ(コロンビア)



福岡は、綺麗で公共交通機関が良く整備されているし、とても親切な方ばかりです。
南 美陽 ソフィア(ブラジル)



学校生活は本当に楽しいです。日本の技術や文化を知る、感じることは、僕にとって最高の経験になると思います。
行徳 政士(ブラジル)



大学に行く度に友達が増えます。日本語がわからないときは、先生や友達が助けてくれます。津留 アナ パウラ(アルゼンチン)



4月に来日して、初めて桜を目にしたときは、とても感動しました!
川波 直美(在ポリア)



1年間の目標は、大学で、新たな技術を身につけること、日本語能力試験 N1を受けること、日本人の友達を作ることです。
行徳 さゆり(ブラジル)



早く日本語を身につけて、読みたい本を、自由に読めるようになります。そして、日本人の友達もたくさん作りたいです。
棚町 ヘラルト(メキシコ)



好きな日本食

- 第1位:博多ラーメン
- 第2位:回転寿司
- 第3位:うどん



好きな福岡県の観光地

- 第1位、第2位(同票): 天神、アイランドシティ中央公園
- 第3位:キャナルシティ博多



福岡県国際交流局長、福岡県国際交流センター企画交流課長が代わりました

【福岡県新社会推進部国際交流局長】
(旧)猿渡 稔 → (新)福島 明彦

【公益財団法人福岡県国際交流センター企画交流課長】
(旧)熊谷 浩志 → (新)入江 啓之